

4月19日  
出来予定

●文芸(海外文学) ご担当者さま

# 2刷忽ち完売のため3刷決定

週刊新潮(4月4日号)、週刊文春(3月21日号)、  
日本経済新聞(3月23日)など紹介多数

## 恐るべき緑

ベンハミン・ラバトウツ 著／松本健二 訳

「プルシアン・ブルー」第二次世界大戦末期、ナチの高官らが所持した青酸カリと、西欧近代における青色顔料をめぐる歴史、第一次世界大戦の塹壕戦で用いられた毒ガス兵器の開発者フリッツ・ハーバーの物語。

「シュヴァルツシルトの特異点」科学史上初めてブラックホールの存在を示唆した天文学者シュヴァルツシルトの知られざる人生。

「核心中の核心」不世出の数学者グロタンディークの数奇な生涯と、日本人数学者、望月新一の人生の交錯を空想する。

「私たちが世界を理解しなくなったとき」黎明期の量子力学の発展に寄与した三人の理論物理学者、ハイゼンベルク、ド・ブロイ、シュレーディンガーと、それぞれに訪れた発見／啓示の瞬間。



貴店印	注文数	ISBN978-4-	書名	本体価格
ご担当	様	560-09090-9	《エクス・リブリス》 恐るべき緑 【特製ポップお付けします】	2,500 円

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811  
FAX 03-3291-8448 (備考 2-19)